



※50音順



## うさぎのくれた バレエシューズ

安房 直子 作

小峰書店

バレエをならい始めて5年もたつのに、女の子は上手になりません。うまくなりますように、月にも星にもお願いしますが…。



## 動物たちが教えてくれる 海の中のくらし

佐藤 克文 作  
木内 達朗 絵

福音館書店

人間が直接観察することのできない深い海の中を泳ぎまわる動物たちは、どうやって生きているのでしょうか？長い間なぞにつつまれてきた海の動物たちの行動を、小型カメラや速度計、深度計を動物の背中にとりつけて調査します。



## 海べのあさ

ロバート・マックロスキー 作  
石井 桃子 訳

岩波書店

サリーが目をさますと、歯が1本ぐらぐらしていてびっくりしますが、お母さんに「大きな子になったというしるしのよ」と言われて…。

急に大人になった気分のサリーと小さな妹のある朝の物語です。



## かいくんと セラピー犬バディ

井上 こみち 作

国土社

海くんは、犬のバディとペアで施設や病院を訪問するセラピーボランティアをしています。バディがセラピー犬になるまでのことや、アニマルセラピーについてなど、海くんとバディの活動を追います。



## かしこいポリーと まぬけなおかみ

キャサリン・ストー 作  
佐藤 涼子 訳

金の星社

おかみは、たいへんなくいしんぼう。いつもやわらかい肉のついた女の子を食べたいと思っています。でも、かしこいポリーは、いつもあぶないところでにげてしまいます。ユニークな会話がたのしいお話です。



## カバテツの ことわざ研究シリーズ

山下 明生 作  
小山 友子 絵

あかね書房

カバの男の子カバテツは、りっぱなカバになるため、いつもまじめに考えごとをしています。

カバテツが「カバのことわざ」をたくさん学びながら成長していきます。かばのことわざってどんなもの？お話を読みながら、たくさんのことわざを知ることができますよ。



## カラスてんぐの ジェットくん

富安 陽子 作

理論社

ジェットくんは、しゅぎょう中のカラスてんぐ。六人のともだちといっしょに、大てんぐ先生からてんぐじゅつをならっています。

ある日、先生のお昼休み中にたいへんなことが起きてしまい…。





## キダマッチ先生！ シリーズ

今井 恭子 作  
岡本 順 絵

BL出版

アグラ山のふもとに池にすむ1ぴきのカエル、それがキダマッチ先生です。どんな病気やけがもあつというまに治してくれる、ひょうばんのお医者さんです。今日は、どんなかんじゃさんがやってくるのでしょうか？



## 9歳のこころのじてん

パク・ソンウ 作  
キム・ヒョウン 絵  
清水 知佐子 訳

小学館

『この気持ちはなんていうんだろう。』

9歳というところがどんどん成長するときに、自分のこころを表現できることばを知って、豊かな表現を身につけましょう。



## 小犬のピピン

ローズマリ・サトクリフ 作  
猪熊 葉子 訳

岩波書店

小さくてちょっとこわがりやのチワワのピピンは、女の人に大切にかわれていましたが、ある日別れのときがきました。犬をだいいな家族としてくらしした作者の愛情あふれる物語です。



## こころ

金子 みすゞ 詩  
いもと ようこ 絵

講談社

「こだまでしょうか」など、どこかで耳にしたことのある金子みすゞの詩の絵本です。

やさしいことばでよまれた詩から、金子みすゞの世界にふれてみましょう。



## さいきん 細菌ホテル

キム・ソンファ クォン・スジン 作  
キム・リョンオン 絵  
猪川 など 訳

金の星社

みんなのからだは、細菌たちのホテル。目に見えない小さな細菌たちが体の中でどんなことをしているか、だいちょう菌がわかりやすく伝えてくれます。



## シートン動物記シリーズ

アーネスト・T・シートン 作・絵  
今泉 吉晴 訳

童心社

自然と動物を愛したシートンが描く生き生きとした動物たちのほんとうの姿。

動物たちの気持ちがわかるようになるかもしれませんね。

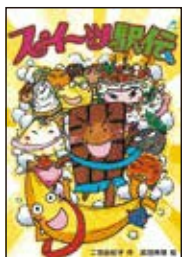


## ジョナスのかさ

ジョシュ・クルート 作  
アイリーン・ライアン・イーウェン 絵  
千葉 茂樹 訳

光村教育図書

いまではだれもが雨の日を使うかさ。雨にぬれるのが大きらいな男が、何を言われてもかさをさしつづけてみんながかさをさすようになっていきます。ほんとうにいたブレない男のお話です。



## スイーツ駅伝

二宮 由紀子 作

文溪堂

ケーキ店、わがし店、フルーツ、コンビニが代表を選んで1区から6区を4チーム24スイーツで走る第1回スイーツ駅伝大会。「影がうすい」といわれるババロアや「名前が二つもある」おはぎなどそれぞれの思いをこめて走るスイーツたち。

スイーツだけど甘くない走りもみどころです。



## たったひとりのあなたへ

エイミー・リード 作  
マット・フェラン 絵  
さくま ゆみこ 訳

光村教育図書

アメリカで番組の制作や司会をつとめたことで有名なフレッド・ロジャーズ。『自分もほかの人もそのままがいいんだよ。』とみとめることの大切さを伝えつづけた人生をえがいています。



## ともだちのしるしだよ

カレン・リン・ウィリアムズ  
カードラ・モハメッド 作  
ダグ・チャーカ 絵

岩崎書店

なんみんキャンプで出会ったリナとフェローザは、出会いのきっかけになったひと組のサンダルを「ともだちのしるし」にするのですが…。



## 小さい魔女

オトフリート・プロイスラー 作  
大塚 勇三 訳

学研

127歳のしんまいの魔女がいました。この魔女は、気のいい魔女で、よい魔女になろうと修行にはげみ、あの手の魔法を使います。でもいつも失敗ばかり。無邪気でそっかしい小さい魔女の明るくてユーモラスな物語です。



## 日本語オノマトペのえほん

高野 紀子 作

あすなろ書房

オノマトペとは、擬音語・擬態語のことです。「ぶるぶる」と「ぷりぷり」。「ことこと」と「ぐつぐつ」。この微妙なちがいが分かりますか？

日本語のおもしろさを楽しく学べる絵本です。



## チャーリー、こっちだよ

キャレン・レヴィス 作  
チャールズ・サントソ 絵  
いわじょう よしひと 訳

BL出版

ここは、『だれでもぼくじょう』。心やからだにきずをおった動物たちが安心してくらせるばしょです。

かたほうの目がよくみえない、馬のチャーリーと、いつもひとりであるヤギのジャック。そんなふたりが、だんだんなかよくなっていきます。

実話をもとにしたお話です。



## にんきもののひけつ

森 絵都 作  
武田 美穂 絵

童心社

花のバレンタイン・デー。おなじくラスのこまつくんはチョコレートを27個もらった。ぼくはたった1個だけ。

ぼくはこまつくんのにんきもののひけつを探ることにした。



## 版画 のはらうた シリーズ

くどう なおこ 作

童話屋

詩集「のはらうた」が版画になりました。目で見て、声に出して楽しんでください。



## 時計つくりのジョニー

エドワード・アーディゾーニ 作  
あべ きみこ 訳

こぐま社

物作りが上手なジョニーはほんものの大時計を作ろうと心に決めます。

みんなはできっこないと言いますが…。好きなことに夢中になるってすてきなことです。



## 番ねずみのヤカちゃん

リチャード・ウィルバー 作  
大社 玲子 絵 松岡 享子 訳

福音館書店

ある家にすむ母さんねずみと子ねずみたちは、人に気づかれないようしずかにくらしていました。ところが末の子ねずみ「ヤカちゃん」の声の大きいこと。きっと大変なことが起こるでしょう。





## パンフルトになった木

栄山 ひろみ 作  
こがしわ かおり 絵

少年写真新聞社

「あかるい歌のひびく世界が、ずっとつづきますように」

広島ひろしまの小学校で被爆した木が楽器になり、子どもたちの歌声とともに平和へのメッセージを届けてくれます。



## みにくいおひめさま

フィリス・マッギンリー 作  
間崎 ルリ子 訳

瑞雲舎

むかしある王国に、ひとりっこの王女がいました。「みにくい」ことをのぞけば世界一しあわせな王女でした。

王さまは王女を美しくできるものにほうびをあたえるとおふれを出しました。すると…。



## 火のくつと風のサンダル

ウルズラ・ウェルフェル 作  
関 楠生 訳

童話館出版

くつ屋のチムは、デブでチビでびんぼう。ほかの男の子になってしまいたいと思ってしまうチム。

でもたんじょう日に、お父さんはチムに「火のくつ」という新しい名前と、すてきな冒険旅行をプレゼントしてくれました。



## 夜のあいだに

テリー・ファン&エリック・ファン 作  
原田 勝 訳

ゴブリン書房

ある日通りに町の人があつまっているのを見つけたウィリアム。

そこには動物の形の木が…。  
毎日夜の間にとおりの木が動物の形になっていく町のふしぎなお話。



## へんてこもりのはなし シリーズ

たかどの ほうこ 作・絵

偕成社

そらいろ幼稚園ようちえんのうらにあるヘンテ・コスタさんがつくった『へんてこもり』では、へんてこでおもしろいことがおこります。

なかよし四人組がくり広げるおもいもよらない、おもしろさ満点のシリーズです。



## ラングリーのみみ

ユリア・ゴシュケ 作  
徳永 玲子 訳

ポプラ社

ラングリーのながい耳は、いつもラングリーのじゃまばかり。

おにごっこをしても転んでしまうし、かくれんぼをしてもすぐにみつかってしまいます。

「どうしてぼくだけこんなにながい耳なんだろう…。」  
ある日、そのながい耳が役に立つできごとがおきます。

## おわりに

ここでは、小学校3・4年生に「おすすめ本30冊しょうかい」を紹介しています。

選書せんしよにあたっては、各小・中学校の先生方のご意見をもとに、熊本市立図書館しよ せんてい司書が選定を行いました。図書館などで本を選ぶ際に、お使いください。

図書館には、他にも楽しい本がたくさんあります。みなさんの心を動かす1冊と出会えることを願っています。



編集発行

熊本市立図書館

〒862-0971 熊本市中央区大江6丁目1-74

TEL:096-363-4522 FAX:096-372-4252

ホームページ

[https://www.library.city.kumamoto.jp/?page\\_id=289](https://www.library.city.kumamoto.jp/?page_id=289)